

◆地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況(抜粋)◆

会議では、事務局から坂ノ市地域まちづくりビジョンに掲げる全事業の取組状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、事業の取組状況や質疑応答、意見交換の中から主なものを抜粋して掲載しています。

【提言1】人がつながるコミュニティの創造

事業名：3世代が交流できる事業

丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので、若者や子どもにもっと地域に積極的に関わってもらいたい。

【取組状況】

地域・・・盆踊り大会や健康ウォーク、ふれあいフェスタなどを実施している。
(自治会やまちづくり協議会、PTA、各種団体などが主体)
行政・・・地域づくり交付金の交付やまちづくり協議会の運営サポートを行っている。

【会議での意見等】

○丹生校区では、丹生温泉の活用促進を図ることを主体に活動している。
○小佐井校区では、まちづくり協議会を立ち上げ、部会に分かれて活動している。
その中で「はたらの里づくり」を推進している。
○坂ノ市校区などでは、納涼盆踊り大会の参加者が高齢化し、参加者が減少している状況であり対策が必要。

事業名：公園(広場)をつくりたい

廃止したため池用の土地(2,100坪)があるので、スポーツができる広場として活用したい。

【取組状況】

地域・・・小佐井校区独自の『まちづくりビジョン会議』を設置し、協議を重ね情報の共有を図っているが、まだ使用目的が定まっていない。
行政・・・自治会内に公園がない場合、「大分市子ども広場設置補助金交付制度」による補助を利用できる。

事業名：住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり

住民と市議会、行政が定期的にコミュニケーションをとる場を作り、予算面などを含め、お互いに納得できるよう話し合いを行う。

【取組状況】

地域・・・会議や委員会等には、組織や団体の代表が参加している。
住民に対して、回覧や掲示板等によりふれあい市長室や市民意見交換会の参加を促している。
行政・・・地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を開催し、地域課題の整理、情報共有を図っている。

【会議での意見等】

○市議会が開催する「市民意見交換会」は大変良いと思う。坂ノ市公民館など広い会場で多くの住民の参加をいただいてもっと時間をとってもらえればと思う。

事業名：萬弘寺広場で朝市等の開催(地域の野菜販売等)

定期的に朝市などを開催することで、住民の交流や、地域の活性化につながる。

【取組状況】

地域・・・実施に向け核となる組織や団体を探している。
行政・・・公園施設の整備要望について、地元と協議を行った。

事業名：子どもの生きる力を養う事業

地域の公民館などで泊まり込み合宿を行い、集団での生活や学習の機会をつくる。

【取組状況】

地域・・・丹生小学校PTAが夏休み中に6年生とその保護者を対象に校内キャンプを実施している。
行政・・・13地区公民館が行っている「体験学習すこやか講座」の実施内容に基づき、キャンプなどの実施にあたってのアドバイスを行う。

【会議での意見等】

○丹生小学校の6年生が地元企業の協力を得て、自分たちの企画で保護者と先生、児童が一緒になってお化け屋敷やキャンプファイヤーなどを楽しく行っている。



萬弘寺広場

裏面につづく

坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信

第2号

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

《地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的》

坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、坂ノ市地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため市長に提言した「坂ノ市地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況の報告並びに意見交換等を行いながら、課題を整理し、取り組みの推進方法を検討するものです。

第1回 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

◆令和3年1月28日(木)14:00～
◆坂ノ市市民センター 大会議室

《議事》

- (1) 会議の公開について
- (2) 地域まちづくりビジョンについて
- (3) 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4) 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について



<坂ノ市地域の将来像>

住んでよし 来てもよし 自慢だらけの坂ノ市

◆ 将来像の実現に向けた市長への提言と提案事業 ◆

提言1:「人がつながるコミュニティの創造」

坂ノ市地域は、住民同士の関係が密であり、萬弘寺の市など様々な行事を通じた住民交流、子どもや高齢者の見守り体制が構築されています。このような体制を維持していくためには、次世代を担う若者を交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取り組みが必要です。

- 【提案事業】 ①3世代が交流できる事業 ②公園(広場)をつくりたい ③住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり
④萬弘寺広場で朝市等の開催(地域の野菜販売等) ⑤子どもの生きる力を養う事業 ⑥子どもへの福祉事業

提言2:「安全・安心なまちづくり」

地震や津波、古いため池など、様々な自然の脅威に対応するための基盤整備はもとより、未来を担う子どもたちや高齢者の安全を確保するため、道路整備や施設整備の促進、支援を望みます。

- 【提案事業】 ①子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進
(・通学路の整備、改善 ・自転車道整備事業 ・公共交通網の充実)
②小佐井小学校及び周辺整備事業

提言3:「地域資源の活用」

坂ノ市地域は豊かな自然に囲まれ、丹生温泉や佐野植物公園、亀塚古墳などの観光資源や、市外の方も楽しめる地域伝統行事などが多くあります。これら地域資源をより有効に活用するための取り組みが必要です。

- 【提案事業】 ①坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施
②坂ノ市の個店を住民に知ってもらうマップを作り、地元消費の喚起につなげる

提言1、提言3

- 【提案事業】 地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進
(・丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場、館を造る ・大分市「いこいの家」を造る)

提言1、提言2、提言3

- 【提案事業】 地域交流のできる総合的な施設の充実
(・地域交流のできる総合的な施設の充実 ・企業と連携したコミュニティセンターの設置 ・坂ノ市公民館の改修)

事業名：子どもへの福祉事業

夜一人で家にいないといけな子どもなどを預けられる場所や、子ども食堂のようなものが必要。

【取組状況】

行政・・・令和元年10月から子どもの居場所づくりネットワーク推進事業を開始し、相談窓口や制度説明などを行っている。

【会議での意見等】

- ボランティアの会で、どうしたらよいか話し合ったが「子ども食堂」の開設まではできていない。
- 坂ノ市地区に「子ども食堂」はない。子どもたちが定期的に気軽に足を運べる場所が1つでもあったらよいと思う。

【提言2】安全・安心なまちづくり

事業名：子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進 (・通学路の整備、改善・自転車道整備事業・公共交通網の充実)

小佐井小学校周辺の道路は朝夕交通量が多く歩道も狭いため、危険。ふれあい交通等の交通網の充実。

【取組状況】

地域・・・交通指導員やPTAが通学時の見守り活動を行っている。また、坂ノ市地区内の老人クラブ会員等が見回りを実施し、危険箇所を発見した場合は支所に連絡している。県道の拡幅や、通学路の安全確保について県・市の担当部署と話をしている。

行政・・・各幼稚園、小学校、中学校の通学・通園路に関する整備及び改善に関する要望を受け、関係機関と連携し、対応を検討している。

【会議での意見等】

- 小佐井小学校の交差点周辺の改修については、話が進んでおり、用地買収の事前調査に入っていると聞いている。大分市の方で水路部分にグレーチングをかけ、安全な通学路にもらった。
- 「ふれあい交通」について市尾地区では、担当課に説明会を開催してもらい、相談に丁寧に対応してもらっている。ふれあい交通のルートは、最寄りの路線バスのバス停までとなっており、バス停の場所によっては、利用しにくい場所もあるので市によく相談することが大切。

事業名：小佐井小学校及び周辺整備事業

小佐井小学校は老朽化していて危険。周辺通学路も整備する必要がある。

【取組状況】

地域・・・小佐井校区独自の『まちづくりビジョン会議』を設置し、協議を重ねている。

行政・・・通学路の側溝整備(市道木田市尾線)を実施した。また、耐震改修などの大規模改修工事や、老朽化対策を行っている。



通学路安全施設整備
(ガードパイプ)



ふれあい交通事業



通学路安全施設整備
(水路の蓋掛け等)

【提言3】地域資源の活用

事業名：坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施

各校区の歴史を調査し、意見交換や地域の史跡を歩いて回るイベントを実施する。

【取組状況】

地域・・・「坂ノ市地区郷土史愛好会」や「丹生郷土史愛好会」を結成し、地域の史跡を巡る健康ウォーキングなどを実施している。

行政・・・地域の歴史・文化継承のため、興味のある方へ勉強会や歴史愛好会などを紹介し、人材育成を図っていく。

【会議での意見等】

- 丹生校区では、若い人の参加もあり、校区内の史跡を周知できている。毎年、300名から400名の参加をいただいている。

事業名：坂ノ市の個店を住民に知ってもらうマップを作り、地元消費の喚起につなげる

坂ノ市広域の商店街マップをつくり(商工青年部のお店や会社を掲載)、住民がどこに何があるか把握できるようにする。

【取組状況】

地域・・・地域のニュースや行事などを伝えられる電光掲示板を国道沿いに設置した。

【会議での意見等】

- 掲示板設置は商工会議所青年部が取り組んだ。今年はさらに掲示板のPRに取り組みたい。



亀塚古墳



電光掲示板

【提言1】【提言3】

事業名：地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進

(・丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場、館を造る・大分市「いこいの家」を造る)

丹生温泉に、3世代が交流できる施設や広場を整備する。丹生温泉を活用して大分市民の「いこいの家」を造る。アスリートを養成するアスリートセンターの建設。

【取組状況】

地域・・・丹生校区ビジョン推進プロジェクトチームを設置し、機会があれば校区内の住民に構想を知ってもらおう活動をしている。

行政・・・現行の指定管理者制度のもと、地域や多世代交流を目的とした優待イベントの実施や地域の祭りとの連携による事業強化、施設の長寿命化等を実施している。



丹生温泉

【会議での意見等】

- 丹生校区挙げての望みで、ありとあらゆる会議などで2年間説明してきた。清掃センターが戸次に移るので、温泉はないが、その土地に佐野植物園と一体化し、規模を拡大して人が集まるものではないかと少しシフトを変えて、校区の皆さんと話をしている。このようなビジョンは、すぐに実現できるものではないので、今後10年、20年と言いつつ、次の世代につなげていかなければいけないと思う。

【提言1】【提言2】【提言3】

事業名：地域交流のできる総合的な施設の充実

(・地域交流のできる総合的な施設の充実・企業と連携したコミュニティセンターの設置・坂ノ市公民館の改修)

図書館は公民館、子どもルームは市民センターなどと施設が分散しているため、総合的な施設の充実を目指す。

地域の企業に福利厚生施設(プール等)の開放依頼を行う。

老朽化した公民館をコミュニティーセンターや児童館などの役割をもたせられるように改修する。

【取組状況】

行政・・・施設を保有する企業への調査を行った。今後も県や大学、企業等の施設開放について働きかけを行っていく。全ての公共施設について、長寿命化を推進している。大規模改修の際には、必要に応じて、周辺の公共施設の機能の集約、複合化を検討する。



坂ノ市公民館

【会議での意見等】

- 坂ノ市地区はプールや体育館、野球場、公園なども整備され他の地区に比べて、スポーツ施設などが充実していると思うが、地域の人々がうまく利用できていないのではないかと。

～坂ノ市地域行事～



◇ 問い合わせ:大分市市民部 坂ノ市支所 TEL 592-1700 ◇